



# 開 拓

校訓  
自主 協力 忍耐

教育目標：志を持って意欲的に学び、豊かな心でたくましく生きる児童生徒  
(かいたっ子)の育成

㊦しこい子 ㊧たわりのある子 ㊨くましい子

今年のスローガン『地域とともにある学校』

文責 橋爪 英雄

## 新たな年輪を刻み、大きく成長しよう

昨年、12月24日の終業式で小学部にも中学部にも「節」「節目」について話をしました。みなさん、覚えていますか。

そこで、今回は「年輪」と「根」について話をしたいと思います。「年輪」は木の年齢を表します。また、「年輪」からその木の健康状態や育ってきた環境も分かります。つまり、「年輪」は人で例えるならば、生きてきた証・人生そのものなのです。「年輪」が増え、木が大きく育つためには、立派な「根」が必要になります。「根」がしっかりと大地に張り、樹木の全体に栄養を送ることで、新たな「年輪」を刻み、「節目」を作りながら大きく成長していきます。

みなさんもしっかりと「根」を張り、たくさんの事柄を吸収しながら、新たな節や枝をつけ、新たな年輪を刻み、大きな大きな木のように成長してください。今年度は残り3か月となりましたが、最後まで先生方と一緒にしっかり学んでください。そして、皆さん自身が確実に成長していることを自分で感じ、自信をもって次のステージに進むことを願っています。



## 初の企画 プチクラスマッチ成功 (中学部)

12月21日～23日の昼休みの時間を利用して、中学部生徒会の企画・運営で冬場の体力増強とコロナ禍でも自主的な活動を取り入れるために「プチクラスマッチ」を実施しました。1日目は障害物リレー(グラウンド)、2日目は紙飛行機大会(大アリーナ)、3日目は障害物リレーを行いました。昼休みの25分間という短い時間ではありましたが、集合・競技・片付け・移動まで生徒会の指示のもと、競技を通して学級内及びクラス間の交流が深まったようでした。特に、例年のクラスマッチでは経験したことがない紙飛行機大会において、事前に学級で紙飛行機の形、折り方等を工夫していました。当日の対抗戦ではスタートの合図で、紙飛行機を折り、それぞれの紙飛行機を飛ばしました。予想以上の飛行ができたチームには、自然と拍手が生まれていました。今回、9年1組が総合優勝のトロフィーを手に入れました。



## 愛生苑へメッセージを贈る (中学部)

例年、生徒会役員と愛生苑の方々との交流会をしておりましたが、コロナ禍のため可能な交流を生徒会役員で企画し、メッセージ・松ぼっくりミニツリー・ビデオメッセージを生徒会役員、評議員を中心に作成しました。12月24日放課後に、生徒会役員が代表して愛生苑玄関で担当の職員の方へメッセージ等を渡し、とても喜んでいただきました。



## 「8年生のみなさん、ありがとう!!」 里山を守労会より



今年度、8年生は「里山を守労会」の支援を得て、農業体験を通して沢山のことを学ぶことができました。8年生は感謝の気持ちを「里山を守労会」の方々へ伝えるために、2学期終業式の日メッセージをお渡ししました。すると、「里山を守労会」から「8年生にとって、これからの1年は勝負の年であり、全力で取り組み、希望に向かって進まれることを願っています。今後は穎田の歴史や自然についても学び、勉学や学友との絆を大切にされ、思い出を沢山つくって下さい。皆さんと活動した、この一年の楽しかった日々感謝します。」という内容のお手紙をいただきました。地域の方々からの支援と期待を大切に、自分の進路を切り拓いていきましょう。

## ストップ! コロナ差別 ～思いやりの心を～

◇誰でも感染する可能性があります。～もしあなたや身近な人が感染したら?～

感染症対策をしても家庭や社会において感染リスクをゼロにすることはできません。また、感染していても自覚症状がなく周りの人を感染させる場合もあります。感染症はあなたの身近な場所に潜んでおり、誰でも感染する可能性があります。もし自分や家族、友人など身近な人が感染したことで誹謗中傷の被害を受けたとき、あなたはどのように思いますか? 差別的な意識や言動をしていないか振り返ってみましょう。

「もしあなたの周りで感染した人がいたらどうすればいい?」



どうして感染したの!? ウイルスを近づけないで!



「思いやりの声をかけましょう」



感染をしたのはあなたのせいじゃないよ。十分に休養して戻って来てほしいね。



<感染者に対する望ましくない対応の例>

<感染者に対する望ましい対応の例>

◇冷静さを忘れずに! 恐れるべきは人ではなく“ウイルス”です。

コロナウイルスを恐れるあまり、人を思いやる気持ちを忘れないでください。恐れるべき対象は感染した「人」ではなく、「ウイルス」です。感染者が安心して適切な治療を受け普段の生活に戻ることは、新型コロナウイルス感染症の終息につながります。一刻も早く終息させるためにも感染対策を徹底し、今まで以上に差別を許さないということを心がけて生活していきましょう。

◇衛生管理を徹底し更なる感染を防ぎましょう。

いま私たちの日常は、新型コロナウイルス感染症と共存していく「新しい生活様式」へと変わりつつあります。感染症が広まるなかで健康な暮らしを送るためには、正しい情報をもとに行動をすることが大切です。感染を防ぐためには、三密を避け、手洗い、マスクの着用、部屋の換気や加湿を徹底しましょう。

忘れないで 思いやりの心  
優しさも終息への大事な一歩



保護者・地域の皆様へ

保護者、地域の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。冬季に入り新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、心配されることもあるかと思いますが、お子様のご家庭の様子で気になることや気づかれたことがございましたら、ご遠慮なく学校へご相談ください。また、お子様・ご家族・同居の方がPCR検査を受けるようになった場合は、検査前に学校へ連絡をお願いいたします。

3学期が次年度に向けてまとめの学期となるよう小中学部全職員で力を合わせて取り組みますので、保護者の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

